

オリジナルのヒーローを製作し、ショーなどを開いている神戸芸術工科大学（神戸市西区）の学生サークルが、特撮ヒーロー映画のコスチュームを手がけた。東日本大震災の影響で撮影が遅れたが、秋には全国で公開される予定。学生らは「自分たちが製作に携わったヒーローで、子どもたちに勇気を与えることができたらうれしい」と公開を楽しみにしている。（堀内達成）

神戸芸術工大学生ら

同大造形表現学科4年の有村悠佑さん(左)と加古川市と、大学院芸術工学研究科の喜多聡さん(右)＝同市＝を中心に2年前発足した「特殊造形サークル」。オリジナルのヒーローや怪獣のコスチュームを製作、各地のイベントでショーを行うなどの活動を続けている。

映画製作への参加が持ち上がったのは昨年秋。同サークルを指導する同大非常勤講師のメイキップアーティスト香西伸介さん(42)から「プロを目指す上でいい経験になる」と自身が関わる映画に、造形スタッフとして加わるよう呼び掛けられたという。

映画は、テレビでも人気のあった「時空警察ウェッカー」(畑澤和也監督)シリーズの劇場版。少女刑事が過去にさかのぼり、

特撮映画で

被災地元気に



これまでに手がけたマスクなどを前に、特殊造形の魅力を語る有村さん(左)と喜多さん＝神戸市西区、神戸芸術工科大学

人型サイボークと闘うストーリーで、アイドルグループ「AK B48」のメンバーが出演している。

プラスチックやゴムなどを使ったマスクやコスチュームは、昨年11月ごろから香西さんの指導を受けながら、同大で製作。主人公ウェッカーなどのマスク

5個、スーツ3着、小道具を完

主人公のマスクなどを手がけた有村さんは「映画が、被災地の子どもたちの心の支えや希望

が、3月11日に発生した巨大地震で、出演者のスケジュールが変更になるなどの影響も。当初予定よりも1カ月遅れ、9月ごろから公開となる見通しという。

木哲也プロデューサーは「阪神・淡路大震災の被災地神戸で撮った映画で、東日本の復興を支援したい」と、売り上げの一部の寄付などを検討している。

マスク製作や
大学で撮影

全国で今秋上映